

科目	都市交通計画学 (Traffic Planning Engineering)		
担当教員	嶋津 巖 非常勤講師		
対象学年等	都市工学科・5年・前期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	A4-S1(85%) A4-S4(15%)	JABEE基準1(1)	(d)1.(d)2-a,(d)2-d,(g)
授業の概要と方針	都市交通計画の社会性、公共性についての認識を深めるとともに、交通流現象や道路設計、道路構造等の基礎知識を習得する。理解の熟度を高めるため、授業のほかレポートによる課題を提出する。最終的には、交通計画全般に渡る理解に基づいた課題形成と解決方法を提案できるまでの能力を身につける。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-S1】都市交通計画の社会的な意義を理解できる。		都市交通計画の社会的な意義に対する理解度と、基礎的な仕組みについて、レポートと中間試験により評価する。
2	【A4-S1】交通流現象及び道路設計の基礎要件を理解し、簡易な設計条件を設定できる。		交通流現象及び道路設計に対する理解度と、設計条件の設定方法について、レポートと中間試験により評価する。
3	【A4-S1】道路構造及び交通信号の原理について理解し、簡易な演習課題を解決できる。		道路構造及び交通信号に対する理解度と、課題解決の習得について、レポートと定期試験により評価する。
4	【A4-S4】交通計画の考え方を踏まえて、都市交通問題を解決するための方策を提案できる。		都市交通計画全般に係る理解と、問題解決に対する提案能力について、定期試験により評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験80% レポート20% として評価する。試験成績は中間試験と定期試験の平均とする。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	「道路交通技術必携2007」 交通工学研究会（編集） 建設物価調査会（発行） ノート講義		
参考書	「道路構造令の解説と運用」（社）日本道路協会（編集）（株）丸善（発売） 「舗装設計便覧（H18.2）」（社）日本道路協会（編集） 「情報化時代の都市交通計画」 飯田恭敬（監修） 北村隆一（編） コロナ社		
関連科目	道路工学，交通システム工学		
履修上の注意事項			

